

報道機関各位

学校法人KBC学園 未来高等学校  
合同会社アースボイスプロジェクト自己肯定感を高め、価値開発力を育てる認知開発®教育が沖縄で始動  
～2020年東京オリンピック・パラリンピックホストタウンとして～

沖縄県中城村は、ホストタウンとして、カーボベルデ共和国のボクシング競技選手団を受け入れています。本機会を通し2020年東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げていくべく、『高校生によるメディア制作プロジェクト』として、学校法人KBC学園未来高等学校沖縄学習センター(那覇市東町)の生徒が動き出しました。生徒たちは、ポスター制作や映像制作を通じ、カーボベルデの選手やオリパラ関係者の思いをホストタウンである中城村の村民たちに伝え、中城村、ひいては沖縄の魅力をカーボベルデに伝える大役を担います。生徒達は、8月31日～9月5日に合宿中の選手やコーチにインタビューを試みました。その素材を使い、作品に仕上げていくため、第1回目の映像編集作業の授業が始まります。

講師である榎田竜路は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会経済・テクノロジー専門委員であり、今回のメディア制作プロジェクトの仕掛け人でもあります。

「自己肯定感を高め、価値開発力を育てる 認知開発®教育」を全国各地のホストタウン、小中学校で指導している榎田がこのプロジェクトを通じて、未来高等学校の生徒たちを指導します。

つきましては、本取り組みをより多くの方々への周知にご協力賜りたく、下記についての取材・報道をよろしくお願ひ申し上げます。

## 記

■日時 10月15日(火)13:00～15:00

■会場 学校法人KBC学園未来高等学校沖縄学習センター(〒900-0034 沖縄県那覇市東町 23-1)  
<https://hi.ida.ac.jp/>

## ■趣旨

沖縄県中城村は、ホストタウンとして、カーボベルデ共和国のボクシング競技選手団を受け入れています。現在、ホストタウンプロジェクトとして、学校法人KBC学園未来高等学校沖縄学習センター(那覇市東町)の生徒15名が、選手を取材し、紹介するポスターを制作中です。

沖縄・日本で合宿してよかったと感じもらえるように、またカーボベルデの選手への心からの応援をポスターや映像に込め、伝えていく役割を担っています。今回、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会経済・テクノロジー専門委員の榎田竜路が協力し「自己肯定感を高め、価値開発力を育てる認知開発®教育」として、『高校生によるメディア制作プロジェクト』を立ち上げ、ポスターや映像制作を推進しています。

最終的に出来上がったポスターは、カーボベルデ共和国に贈られ、中城村内でも2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、市内の公共機関などでも展示される予定です。

■講師・アドバイザー: 榎田竜路

1964年生まれ、神奈川県出身。法政大学経済学部卒業。メディアプロデューサー、音楽家。北京電影学院客員教授、(合)アースボイスプロジェクト代表社員、NPO法人映像情報士協会理事長。公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会経済・テクノロジー専門委員。専門の一つ、身体技法の研究から日本の伝統文化の底に息づく「型」に着目、人の感覚を引き出す働きを応用し、地域情報のグローバルな展開を支えるメディア手法や、地域や企業的情報をプロデュース出来る人材の育成手法「認知開発®手法」を開発、全国に展開中。

アースボイスプロジェクト <http://ev-pj.com/>

【お問い合わせ先】 合同会社アースボイスプロジェクト 担当: 榎田智子

Mobile 080-8048-1932 TEL0467-24-1740 FAX0467-50-0280 E-mail [info@ev-pj.com](mailto:info@ev-pj.com)

〒248-0007 鎌倉市大町 5-13-10

